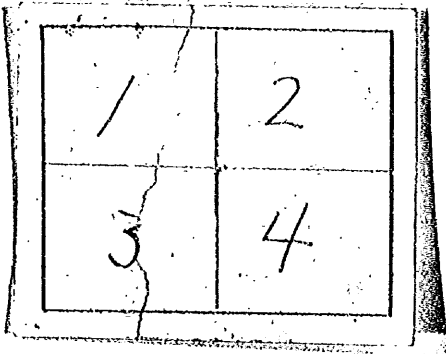


分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0042
0043
0044
0045

第三軍獨立混成第一三三旅團
部 隊 名 獨立混成第一三三旅團輜重隊
通稱號 奮戰三三五三二一

郵便所名

全般概要		轉入		轉出		員人制編		別 隊		隊 長 名		關入		駐 屯 地		戦斗間の状況及損耗		終戦後の人員變動		作業大隊より入「ソ」迄の變動		入「ソ」人員		滿洲残留					
二〇、八、九 京城より轉進 八、二〇 停戦を知り東京城下向ふ途 中老夏家にて 八、二二 武蔵(四七五) 八、三〇 東京城防部隊解散 作業大隊二六五編入され入 「ソ」 九、一五 東京城へ被河「ウオロシロ フ」經由へパロフスク收容所 へ		八、一四 大城子到着後 斗なし行方不 明 九二名				118 264 608 89		隊 長 名 ()内は先代を不示す 隊長 松本 勇一 副官 大澤榮市郎 少尉 村田 同		關入 戦時 平時		駐 屯 地 東 綏 上 同								八、二三 富錦城に於て松 本大隊を編成		二〇、八、二〇 東京城に於て二六九大隊長 中野田中正勝 九、七 東京城出發 九、一〇 被河營 九、一七 河出發 愛河營 九、二三 コムンモリスク 營		隊別 計					
								隊 別 計														收 松本大隊はパロフ スク收容所に收 容され農耕に従事							

隊名 獨立混成第一三三旅團輜重隊 通稱號 奮戰三三五三二

郵便所名

隊中第一車動、自	隊中馬務	部	本	別	隊
				隊長 松本 勇一 大尉 副官 大澤榮市郎 少尉 同 村田	(一)内は先代を示す
				駐屯地	東 綏 綏 綏 上 同
				戰鬥間の状況及損耗	
				終戦後の人員變動	
				作業大隊より入「ソ」迄の變動	二〇、八、二〇 東京城に於て二六九大隊 中尉田中正盛 九、七 東京城出發 九、一〇 被河沼 九、一七 河田發 愛宕登 九、二三 コムンモリスク
				八、二三 宮城に於て松本大隊を編成	
				入「ソ」人員	
				滿洲殘留	
				收容所名	松本大隊はババロフスク收容所に收容され農耕に従事
				所入	
				死亡	
				滿洲より領計	
				者數	狀況不明

			二〇、八、九 大坂より寄進 八、二〇 谷崎を以て宛宛宛に西上 中野(家)イ 八、二二 武部(四七五) 八、三〇 東京城番部除隊 作樂大隊二六五編入され入 「ソ」 九、一五 東京城へ控河くウオロシ フ經由ハヘロフニク牧野所 ハ、
			八、一四 大坂字部除隊 斗なし行方不 明 九二名
118	118	264	608
隊中二第車動自	隊中一第車動自	隊中馬晚	部 本
少尉 伴 辰 正 次 子 一 見 王 少 白 元 一 二、三、 迄 不 知 三 号 三、 中 平 白 藤 之			少尉 伴 辰 正 次 子 同 少尉 伴 辰 正 次 子 同 少尉 伴 辰 正 次 子
150			
			三 司
行方不明			
			三〇、八、二〇 東京城番部除隊 中野(家)イ 九、一〇 谷崎 九、一七 河田 俊 義 九、二三 コトノモリニク
			八、二三 谷崎宛に於て松 本大隊を編成

隊中二第車動自	隊中一第車動自	隊中馬鞍	部本
<p>少尉 佐藤正雄 少尉 山崎白元 少尉 辻本利三 少尉 千原隆之 150</p>			<p>大尉 松本 勇一 少尉 大塚 隆太郎 少尉 菅田</p>
			<p>少尉 坂本</p>
			<p>少尉 上野</p>
<p>少尉 竹方 加次郎</p>			
<p>八、二三 宮崎城に於て松本大隊を編成</p>			<p>松本大隊はババロフスク收容所に收容され農耕に従事</p>

0046

~~3A~~
4A